

宮古市の復興に向けて ～公共交通班～

平成24年6月18日

宮之上慶

野村輝晃

苗含露

発表内容

- 山田線復旧へ向けての考察&提案
 - 仮復旧案としてのBRTの位置づけ
 - 山田線復旧へのプロセス案
 - バス輸送の課題
 - 宮古市内における山田線の駅配置構想

BRTに対する検討

✓ BRTの位置づけ

JR東日本:仮復旧の手段としてBRT導入を示唆

→鉄路による復旧が前提

✓ ルート

平地が少ないことから、BRTの専用軌道は大部分において
山田線の路盤を転用せざるを得ない

→鉄路復旧に支障を来す可能性

BRTに対する検討

✓ BRTによる早期復旧の可能性

宮古市復興まちづくり計画	津軽石地区において国道45号と山田線の嵩上げ整備を構想
山田町復興計画	山田地区・折笠地区・船越地区で、周辺の住宅地・商業地も含めて国道45号と山田線の嵩上げを検討

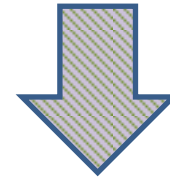
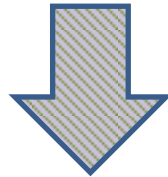
BRTを導入する場合にも、周辺地区の復興計画と一体となった形を模索する必要性

「代替交通の早期確保」というBRT導入目的にそぐわない

山田線復旧までのプロセス案

鉄路復旧までの代替交
通路線の拡充・維持

各自治体の復興計画を
踏まえた路盤の嵩上げ・
施設移転を含む永続的
な鉄路の形を検討



山田線本復旧

宮古市内の代替バスのルートと 主なバス停



- 岩手県北バスが山田町の船越駅まで運行中
- 船越駅まで山田線の全ての駅付近に停留所が確保されている
- 運行頻度は朝・夕は1時間に2~3便、日中は1時間に1便程度

地図はgoogle mapを使用

バス輸送の課題

✓ 所要時間の増大(被災前の山田線との比較)

宮古駅→磯鷄	4分→10分
宮古駅→津軽石	12分→23分
宮古駅→山田町中心部	32分(最速)→51分

✓ 乗り継ぎの利便性低下

- 釜石－宮古間直通便は1日2往復のみ。
- 道の駅やまだで乗り継ぐことで、1～2時間に1便程度の頻度。
- 宮古－釜石間の所要時間は、直通急行便で1時間35分、乗継の場合は2時間程度。(被災前の山田線では、1時間15分)

当面のバス輸送と山田線の 今後の方向性

✓ バス

現状:山田町を境に北側を岩手県北バス、南側を岩手県交通が運行

→地元市町村やJRが必要な補助策を講じた上で
両社の一体運行を促す(直通急行便の増便)

✓ 山田線(宮古市内)

嵩上げ等の必要な措置を講じた上で、従前地での復旧を目指す

まちの構造や生活実態に応じて駅の移転や新駅設置も検討の余地あり

宮古市内における山田線の駅配置構想



① 磯鶏駅南側

付近に高校・大学等が密集していることから、通学需要が見込める

② 津軽石駅南約1km地点

付近は住宅地になっており、自動車整備工場や運送会社の事業所等もあることから、一定の需要が見込まれる

地図はgoogle mapを使用

ご清聴ありがとうございました